

変更後	現行
<p>第3 研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1～11 (略)</p> <p>12 生物系特定産業技術 18) に関する基礎的研究の推進</p> <p>【評価軸】 ○革新的技術シーズを実用化へ繋ぐ成果の実用化など、社会実装に至る研究開発が適切に推進されているか。</p> <p><評価指標> ・広く研究機関が公募されるとともに、社会実装を目指す研究機関の採択が行われているか。 ・研究機関の採択に当たっては、透明性を確保しつつ、公正・公平に行われているか。</p> <p>【評価軸】 ○研究管理体制の整備・充実が図られているか。</p> <p><評価指標> ・事業の実施に支障がないよう、研究機関の採択等に係る事務処理が迅速に行われているか。 ・<u>ムーンショット型研究開発を実施するための基金の設置が適切に行われているか。</u> ・研究開発の評価に当たっては、有識者の活用による評価が行われ、資金配分等に反映されているか。 ・研究成果発表会等、国民に分かりやすい形での研究成果に関する情報提供が行われているか。 ・<u>プログラムディレクター (PD)、プログラムオフィサー (PO) 及びプロジェクトマネージャー (PM) の氏名が公表されるとともに、その役割分担</u> ・業務内容が明確化されているか。 ・PD、PO 等による研究課題の進行管理がどのように行われているか。</p> <p><モニタリング指標> ・公募開始から研究機関の採択に要した日数 ・<u>ムーンショット型研究開発に関する規程の整備状況</u></p>	<p>第3 研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1～11 (略)</p> <p>12 生物系特定産業技術 18) に関する基礎的研究の推進</p> <p>【評価軸】 ○革新的技術シーズを実用化へ繋ぐ成果の実用化など、社会実装に至る研究開発が適切に推進されているか。</p> <p><評価指標> ・広く研究機関が公募されるとともに、社会実装を目指す研究機関の採択が行われているか。 ・研究機関の採択に当たっては、透明性を確保しつつ、公正・公平に行われているか。</p> <p>【評価軸】 ○研究管理体制の整備・充実が図られているか。</p> <p><評価指標> ・事業の実施に支障がないよう、研究機関の採択等に係る事務処理が迅速に行われているか。</p> <p>・研究開発の評価に当たっては、有識者の活用による評価が行われ、資金配分等に反映されているか。 ・研究成果発表会等、国民に分かりやすい形での研究成果に関する情報提供が行われているか。 ・プログラムディレクター (PD)、プログラムオフィサー (PO) の氏名が公表されるとともに、その役割分担・業務内容が明確化されているか。</p> <p>・PD、PO 等による研究課題の進行管理がどのように行われているか。</p> <p><モニタリング指標> ・公募開始から研究機関の採択に要した日数</p>

- ・社会実装が図られた研究開発の本数又は割合
- ・マスコミ等に取り上げられた研究開発の本数又は割合
- ・「『知』の集積と活用」で紹介された研究開発の本数又は割合

13 (略)

- ・社会実装が図られた研究開発の本数又は割合
- ・マスコミ等に取り上げられた研究開発の本数又は割合
- ・「『知』の集積と活用」で紹介された研究開発の本数又は割合

13 (略)

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の中長期目標の評価軸・評価の視点等（案）

平成28年3月31日制定
 平成31年2月14日改正
 令和2年〇月〇日改正
 農 林 水 産 省
 財 務 省

中長期目標	評価軸・評価の視点	評価指標等
<p>第3 研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項</p>		
<p>1 ニーズに直結した研究の推進と PDCA サイクルの強化</p> <p>(1) ニーズに直結した研究の戦略的展開</p> <p>(2) 法人一体の評価と資源配分</p>	<p>※研究セグメントにおける個別の事項の評価は第3の9で行う。</p> <p>○農業者の関与強化など農業や食品産業等の現場や政策ニーズに即した研究推進を強化する仕組み・体制が適切に構築・運用されているか。</p> <p>○法人全体を俯瞰した評価が行われ、研究課題の変更や中止、予算・人員等の資源配分に反映するシステムが構築・運用されているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 研究推進において、農業や食品産業等の現場や政策ニーズを機動的に反映するための仕組み・体制が整備され、運用されているか。 評価結果に基づく「選択と集中」により、研究課題の見直しが行われているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 法人全体を俯瞰した評価を行い、その評価に基づく予算・人員等の資源を的確に配分するシステムが構築・運用されているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> アドバイザーボード等の設置数、開催数 研究課題の見直しの状況 外部資金の獲得状況（件数、金額） 収集した現場ニーズに対する課題化の状況（対応率）
<p>2 異分野融合・産学官連携によるイノベーション創出</p> <p>(1) 異分野融合研究の強化</p>	<p>※研究セグメントにおける個別の事項の評価は第3の9で行う。</p> <p>○府省、研究分野、業種等の枠を超えた研究体制を構築するためのマネジメントが適切に実施されているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 府省、研究分野、業種等の枠を超えた共同研究や、事業者等と連携を推進するためのマネジメントが行われているか。

<p>(2) 産学官連携の戦略的推進</p>	<p>○農林水産省が行う「『知』の集積と活用 の場」を活用した取組が適切に実施されているか。</p> <p>○法人全体で産学官連携を推進する体制が適切に構築・運用されているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・『知』の集積と活用」の場」を活用し、開発技術の普及促進・技術移転が進められているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業など外部機関と交流を図り産学官連携を推進する体制が整備され、運用されているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・異分野融合研究等の取組状況（共同研究数、他機関との連携実施数、外部資金への応募数及び獲得数） ・資金提供型共同研究件数、民間企業等からの資金獲得額
<p>3 地域農業研究のハブ機能の強化</p>	<p>※研究セグメントにおける個別の事項の評価は第3の9で行う。</p> <p>○地域農業研究センターが地域農業研究の拠点として研究開発を行うための体制が構築・運用されているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業研究センターにおける研究推進において、地域の自治体、生産者、民間企業等のニーズを収集し、研究に反映させる仕組み・体制が整備され、運用されているか。 ・地域の産学連携支援機関との連携に配慮しつつ、産学官連携が推進されているか。 ・地域農業研究センターが地域の多様な課題に対応できるよう、本部やつくば地区等の専門研究組織等と連携・協力する体制が整備・運用されているか。 ・農研機構の研究開発成果について現地導入を進めるための取組が行われているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の産学連携支援機関との連携状況（連携会議の開催数） ・研究部門や重点化研究センターの成果を法人として社会還元するための地域とつくばの連携

<p>4 世界を視野に入れた研究推進の強化</p>	<p>※研究セグメントにおける個別の事項の評価は第3の9で行う。</p> <p>○国際水準の研究開発成果の創出や、国際的なイニシアティブの発揮が行われているか。</p> <p>○国際的な研究ネットワークへの参画、海外機関との連携、JIRCAS との連携の取組が十分行われているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料や気候変動問題等の地球規模の研究課題が実施され、国際貢献等を行うとともに、国際水準の研究開発成果の創出により農研機構の国際的プレゼンスの向上が図られているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な研究ネットワークへの参画や、海外機関等との連携により研究開発が効果的・効率的に推進されているか。 ・国際学会・国際会議への参加、成果発表等により、国際水準の研究成果が創出され、海外に発信されているか。 ・農林水産物輸出戦略やグローバル・フードバリューチェーン戦略に貢献する研究・調査など、農林水産物の輸出や関連産業の海外展開を促進する研究開発のマネジメントがどのような体制で実施されているか。 ・農業機械の安全性や環境性能、作業機との通信規格など国際標準化への対応が図られているか。 ・開発途上国地域に関する対処を効率的に進めるために、JIRCAS との協力体制が構築されているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な研究ネットワークへの参画状況（国際会議等開催数、参加数、成果発表数、委員・役員等の従事者数） ・農林水産物の輸出や関連産業の海外展開に資する研究開発の取組状況（課題数、研究エフォート）
<p>5 知的財産マネジメントの戦略的推進</p> <p>(1) 知的財産マネジメントに関する基本方針の策定</p>	<p>※研究セグメントにおける個別の事項の評価は第3の9で行う。</p> <p>○農研機構の知的財産マネジメントに関する基本方針が策定され、運用されている</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「農林水産省知的財産戦略 2020」及び「農林水産研究における知的

<p>(2) 知的財産マネジメントによる研究開発成果の社会実装の促進</p>	<p>か。</p> <p>○研究開発成果を農業や食品産業等の現場での活用に結びつけ、迅速に社会実装していくための戦略的な知的財産マネジメントが取り組まれているか。</p>	<p>財産に関する方針」等を踏まえて、どのような知的財産マネジメントに関する基本方針が策定され、実施されているか。</p> <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発成果の商品化・事業化等を図る上で、有効な知的財産の取扱方針を描き、最適な方法を選択して社会実装を促進する知的財産マネジメントが実施されているか。 ・知的財産の組み合わせによる成果技術の保護強化や知的財産権の群管理等の取組が実施されているか。また、農研機構の保有する知的財産について、実施許諾等活用が図られているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許の実施許諾件数及び実施許諾された特許件数 ・品種の利用許諾件数及び利用許諾された品種件数
<p>6 研究開発成果の社会実装の強化</p> <p>(1) 研究開発成果の公表</p> <p>(2) 技術移転活動の推進</p> <p>(3) 規制対応研究の一体的実施</p> <p>(4) 広報活動の推進</p>	<p>※研究セグメントにおける個別の事項の評価は第3の9で行う。</p> <p>○研究開発成果について、情報提供、公表が適切に行われているか。</p> <p>○研究後半の実証試験の導入など、技術移転活動を推進するためのマネジメントが適切に実施されているか。</p> <p>○研究開発成果の商品化・事業化までを見通して、各種規制が適用される可能性や対処法を検討する仕組みを構築・運用しているか。</p> <p>○専門誌・紙への対応だけでなく、農研機</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公表の際、権利化の可能性、秘匿化の必要性等の知的財産の取扱の検討が行われているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発成果について、生産現場や実需者等のユーザーへの円滑な技術移転を促進する取組が行われているか。特に、普及が期待される重要な研究開発成果について、農研機構及び研究者自らが技術移転活動を実施しているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発成果を産業化・実用化するために、研究開発において、食品安全規制、生産資材規制、労働安全規制等の各種規制が適用される可能性を事前に分析し、研究開発と規制対応研究を一体的に行う取組が行われているか。 <p><評価指標></p>

<p>(5) 国民との双方向コミュニケーション</p> <p>(6) 研究開発成果の中長期的な波及効果の把握と公表</p>	<p>構が国民に広く認知されるための広報の取組が適切に行われているか。</p> <p>○農研機構及び研究者による国民との双方向コミュニケーションの取組が適切に行われているか。</p> <p>○研究成果の社会貢献について、実績の把握とその結果の公表が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研究情報や成果が、ユーザーが利用しやすい形で的確に発信されているか。広報活動のあり方が的確に見直されているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> シンポジウムやイベント開催等により、研究者と一般消費者や生産者が交流し、研究・開発の成果や取組の相互理解の増進が図られているか。 研究情報の発信において、農産物・食品の安全性や遺伝子組換え技術等の先端技術を応用した品種開発等については、科学的かつ客観的な情報発信が行われているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の研究開発成果の社会貢献の実績が把握され、その結果が公表されているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 広報誌等の発行数、研究報告書等の刊行数 技術相談件数、見学件数、見学者数 シンポジウム、講演会、一般公開等の開催数、参加者数 研究開発成果と社会貢献の実績の公表実績
<p>7 行政部局との連携強化</p>	<p>※研究セグメントにおける個別の事項の評価は第3の9で行う。</p> <p>○行政部局との通常の連携の仕組み、緊急時等の機動的対応の仕組みが適切に構築・運用されているか。緊急時等において行政ニーズに迅速に対応しているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 行政部局と研究計画段階から連携し、行政ニーズが研究内容等に反映されているか（企画立案段階）。また、研究開発成果が行政施策に反映されているか（社会還元）。 緊急時対応を含め連携会議、専門家派遣の対応、シンポジウムの共同開催等の協力が行われているか。 災害対策基本法等に基づく災害対応、食品安全基本法に基づく緊急対応、重要な家畜伝染病の発生時の緊急防疫活動など危機管理に対する備えと発生時の機動的対応として、職員の派遣、現地調査、助

		<p>言、病性鑑定及び研究の実施が行われたか。</p> <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政部局との連携会議開催状況 ・ 行政等の要請による委員会等への専門家派遣数 ・ シンポジウム等の共同開催数、参加人数 ・ 災害時支援及び緊急防疫活動等の取組状況 ・ 防災訓練及び研修等に関する取組状況 ・ 研究成果の行政施策での活用状況
8 専門研究分野を活かしたその他の社会貢献	○専門研究分野を活かして行うべき社会貢献の取組内容が明確にされ、実施されているか。	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政等の依頼に応じ、病虫害・雑草の鑑定・同定、各種成分の品質分析等がどのように行われているか。 ・ 外部精度管理用試料等をどのように製造しているか。どこに頒布しているか。 ・ 国際機関等の要請に応じて専門家の派遣、学会等への委員の派遣等がどのように行われているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門知識を必要とする分析・鑑定件数 ・ 技術講習生の受入人数、研修人数 ・ 家畜及び家きん専用の血清類及び薬品の配布件数 ・ 国際機関等への専門家の派遣件数
9 農業研究業務の推進（試験及び研究並びに調査）	（別紙）	
10 種苗管理業務の推進 （1）業務推進の基本方針	<p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な品種登録の実施及び優良種苗の流通確保のための、以下の（2）～（5）の種苗管理の取組が適切に行われているか。 	

<p>(2) 農林水産植物の品種登録に係る栽培試験等</p> <p>(3) 農作物(飼料作物を除く。)の種苗の検査、指定種苗の集取、立入検査等</p> <p>(4) ばれいしょ及びさとうきびの増殖に必要な種苗の生産、配布等</p> <p>(5) 種苗管理業務に係る研究開発成果の現場への橋渡し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・品種登録審査を着実に推進するための栽培試験等が適切に実施されているか。 ・指定種苗の検査及び依頼検査が確実に行われているか。また、ニーズに即した依頼検査項目等の拡大が適切に行われているか。 ・道県の需要に対応した原原種の供給の安定確保、健全無病な種苗の供給生産・配布が適切に行われているか。 ・種苗管理業務に係る研究開発成果の現場への橋渡しや、種苗に関する情報提供等の取組が適切に行われているか。 	<p><主な定量的指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培試験の実施点数 ・種類別審査基準案の作成又は改正数 ・栽培試験結果報告書の平均提出日数 <p><主な定量的指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定種苗の表示検査数及び集取数 ・依頼検査の報告までの日数 <p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大された検査項目 <p><主な定量的指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道県の需要量に対する原原種の生産・配布量 ・原原種の品質検査結果 <p><主な定量的指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発部門が育成した新品種の種苗の増殖等の取組状況 ・種苗業者や種苗生産者に対する情報提供等の状況
<p>11 農業機械化の促進に関する業務の推進</p> <p>(1) 業務推進の基本方針</p> <p>(2) 研究の推進方向</p>	<p>○生産現場が直面する問題の速やかな解決、生産システムの革新による大幅な生産性の向上及び新たな価値の創出等に資するため、以下の(2)～(5)の農業機械に関する試験研究及び実用化、安全性検査等の取組・体制の構築が適切に行われているか。</p> <p>○研究の推進に当たって、研究ステージに応じ、研究評価が反映される体制が構築されているか。また、行政及び生産現場のニーズに対応するため、関係者が参画</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の推進に当たって、研究ステージに応じた評価を反映するとともに、関係者が参画した機械開発・改良・実用化に協力分担して取り組んでいるか。

<p>(3) 効率的・効果的な研究開発を進めるための配慮事項</p>	<p>した機械開発・改良・実用化の取組に対して、連携・協力が十分であるか。</p> <p>○研究課題の選定・実施に当たって、生産現場のニーズに対応するため、現場ニーズに係る情報収集や課題化する体制が構築されており、連携・協力が十分であるか。また、ロボット技術やICT等の異分野の技術を活用した先進的・革新的な機械の開発に、異分野の研究機関等との連携・協力が十分であるか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定に当たって、各地域農業研究センターや行政部局等から生産現場のニーズについて情報収集し、研究の重点化を図っているか。 ・先端的、基盤的な技術の開発・導入のためロボット技術やICT等の異分野の研究機関等との連携に取り組んでいるか。また、電動化等未確立の基盤技術について、大学や異分野の研究機関等との連携協力に取り組んでいるか。
<p>(4) 農業機械の安全性検査等</p>	<p>○農業機械の安全性、環境性能の向上及び申請者の利便性の向上につながるものであるか。また、国際標準の設定等に関する議論に貢献がなされているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性評価・環境性能評価の充実に向けた取組が行われているか。 ・安全性検査等業務において、効率的な検査の実施、事務処理の合理化等により、成績書の早期提出に努めているか。 ・農業機械作業の安全に係る情報、安全性検査等に関する質問及び回答等について、ホームページ等を通じて適切に情報提供が行われているか。その際、高齢者にも配慮した取組を行っているか。 ・国際標準の設定等に関する議論に積極的に関与しているか。
<p>(5) 農作業の安全に資する情報収集・分析とそれを踏まえた農業機械の開発及び評価試験の高度化</p>	<p>○農作業の安全に資する情報収集・分析が農業機械の安全性の向上及び安全利用の推進に寄与するものであるか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業事故の実態を効果的に把握・分析し、農業機械メーカーや生産現場に対するフィードバックに取り組んでいるか。 ・分析結果に基づき、新たな機械開発に向けたリスクアセスメントの助言指導を行うとともに、安全性向上に向けた取組情報等を把握・共有し、事故分析や啓蒙活動に取り組んでいるか。 ・農業機械の安全設計の取組が促進されるよう、評価試験手法への反映に取り組んでいるか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術講習会などへの講師派遣回数 ・農業機械化促進に関する技術相談などの件数 ・展示会への出展件数などの広報実績 ・見学件数

<p>12 生物系特定産業技術に関する基礎的研究の推進</p>	<p>○革新的技術シーズの実用化など、社会実装に至る研究開発が適切に推進されているか。</p> <p>○研究管理体制の整備・充実が図られているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く研究機関が公募されるとともに、社会実装を目指す研究機関の採択が行われているか。 ・研究機関の採択に当たっては、透明性を確保しつつ、公正・公平に行われているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施に支障がないよう、研究機関の採択等に係る事務処理が迅速に行われているか。 ・<u>ムーンショット型研究開発を実施するための基金の設置が適切に行われているか。</u> ・研究開発の評価に当たっては、有識者の活用による評価が行われ、資金配分等に反映されているか。 ・研究成果発表会等、国民に分かりやすい形での研究成果に関する情報提供が行われているか。 ・<u>プログラムディレクター（PD）、プログラムオフィサー（PO）及びプロジェクトマネージャー（PM）の氏名が公表されるとともに、その役割分担・業務内容が明確化されているか。</u> ・PD、PO 等による研究課題の進行管理がどのように行われているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募開始から研究機関の採択に要した日数 ・<u>ムーンショット型研究開発に関する規程の整備状況</u> ・社会実装が図られた研究開発の本数又は割合 ・マスコミ等に取り上げられた研究開発の本数又は割合 ・『知』の集積と活用の中」で紹介された研究開発の本数又は割合
<p>13 民間研究に係る特例業務</p>	<p>○民間研究促進業務に係る資金回収業務の取組が十分であるか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人等への指導を、組織的かつ効果的に行っているか。 ・各種展示会等、あらゆる場面を活用して研究成果のPR等に努めているか。

		<ul style="list-style-type: none"> ・繰越欠損金の解消計画に沿った取組を行っているか。 ・事業化の進捗状況や取組の効果の検証を踏まえた計画の見直しを行っているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会において研究成果のPR 等を行った回数 ・繰越欠損金の縮減状況
第4 業務運営の効率化に関する事項		
<p>1 業務の効率化と経費の削減</p> <p>(1) 一般管理費等の削減</p> <p>(2) 調達合理化</p>	<p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直し・効率化を進め、法人運営に支障を来たすことなく業務経費、一般管理費削減の数値目標が達成されているか。 ・調達等合理化計画の適正かつ迅速な調達を実現するために定量的な目標や具体的な指標として、どのようなものを設定しているか。その目標や指標が達成されているか。達成のためにどのような取組を行っているか。 	<p><主な定量的指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般管理費の削減状況 ・業務経費の削減状況 <p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同調達等効率化の取組状況
<p>2 統合による相乗効果の発揮</p> <p>(1) 組織・業務の再編</p>	<p>○統合による相乗効果を最大限に発揮するため、従来の枠組みにとらわれない適切な組織見直しが行われているか。</p> <p>○統合に対応して、一元化が可能な業務の</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合による相乗効果を最大限に発揮するための組織体制の整備が行われているか。また、研究の進捗に応じ、機動的に研究体制を見直し研究者を配置する仕組みが整備されているか。 ・つくば地区の研究推進組織を再編し、基礎から応用・実用化までの一貫した研究体制の構築・運用がされているか。 <p><評価指標></p>

<p>(2) 研究拠点・研究施設・設備の集約（施設及び設備に関する計画）</p>	<p>集約や ICT 活用等による業務効率化が行われているか。</p> <p>○法人統合を踏まえ、研究の重点化方向、長期的な維持管理経費節減に向けて研究拠点・研究施設・設備の集約の計画を適切に策定しているか。その実現に向けた取組が行われているか。</p>	<p>・業務の効率化が図られているか。特に、つくば地区の管理業務やほ場業務等についての一元化、高度機器等の相互利用等の業務の効率化が図られているか。</p> <p><評価指標></p> <p>・将来の研究の重点化方向に対応するとともに、省エネルギーの推進や維持・管理経費の節減、老朽化施設の安全対策等が図られているか。</p> <p>・つくば地区の再編、地域の研究拠点や小規模研究拠点等の再編・見直しの取組が行われ、施設・設備の最適化の見直しが進められているか。</p>
<p>第5 財務内容の改善に関する事項</p>		
<p>1 収支の均衡</p> <p>2 業務の効率化を反映した予算の策定と遵守</p> <p>3 自己収入の確保</p> <p>4 保有資産の処分</p>	<p>【評価の視点】</p> <p>・業務達成基準の導入、セグメント管理の強化に対応した会計処理方法はどのように定められているか。それに従って運営されているか。</p> <p>・受託研究等の外部研究資金の獲得、受益者負担の適正化、法人における知的財産権等の実施料収入の拡大等、自己収入確保に向けて積極的な取組が行われているか。</p> <p>・保有資産の必要性について点検を行っているか。自己点検の結果、必要性や利用率の低い施設について、積極的な処分が行われているか。</p>	<p><主な定量的指標></p> <p>・セグメントごとの業務達成の目標に対する予算配分と執行状況</p> <p><その他の指標></p> <p>・セグメントに配分された予算と決算に大きな乖離はないか。大きく乖離している場合は、その理由は明確になっているか。</p> <p><主な定量的指標></p> <p>・外部研究資金の実績、特許権等の実施許諾等収入実績、施設利用等の自己収入の実績</p> <p>・新規業務への取組と実績</p> <p><主な定量的指標></p> <p>・不要の保有資産の処分実績</p>
<p>5 繰越欠損金の着実な縮減</p>	<p>(第3の13で評価を行う。)</p>	
<p>第6 その他業務運営に関する重要事項</p>		

<p>1 ガバナンスの強化</p> <p>(1) 内部統制システムの構築</p> <p>(2) コンプライアンスの推進</p> <p>(3) 情報公開の推進</p> <p>(4) 情報セキュリティ対策の強化</p> <p>(5) 環境対策・安全管理の推進</p>	<p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長のリーダーシップの下、役員による迅速な意志決定ができる内部統制の仕組みがどのように構築され、運用されているか。それにより業務がどれだけ円滑に行われているか。 ・法人におけるコンプライアンス徹底のための取組、研究上の不適正行為を防止するための事前の取組がどのように行われているか。コンプライアンス上の問題が生じていないか。 ・法人運営についての情報公開の充実に向けた取組や情報開示請求へどのような対応が行われているか。 ・政府機関の情報セキュリティ対策のための統一的な基準群を踏まえた事前の情報セキュリティ対策がどのようになされているか。情報セキュリティ・インシデントは生じていないか。 ・化学物質、生物材料等を適正に管理するシステムが構築・運用されているか。化学物質等の管理に関する問題が生じていないか。 ・資源・エネルギー利用の節約、リサイクルの徹底など環境負荷軽減のための取組等の内容を明確化し実施しているか。 	<p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部統制システムの構築と取組状況 <p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守や倫理保持に向けた取組実績（職員研修等の開催件数等） <p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開対応状況 <p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ取組状況 <p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究資材等の適正な管理のための取組状況（不用となった化学物質や生物材料等の処分の実績を含む） <p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減のための取組状況 ・事故・災害を未然に防止するための安全確保体制の整備状況及び安全対策の状況
---	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・職場安全対策及び安全衛生に関する管理体制が適切に構築・運用されているか。災害等における緊急時の対策が整備されているか。重大な事故が生じていないか。 	<p><その他の指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境対策や安全管理の職員の研修の開催実績
<p>2 研究を支える人材の確保・育成</p> <p>(1) 人材育成プログラムの策定と実施</p> <p>(2) 人事に関する計画</p> <p>(3) 人事評価制度の改善</p> <p>(4) 報酬・給与制度の改善</p>	<p>○人材育成プログラムの内容は適切か。それに基づく取組は適切に実施されているか。研究管理者や研究支援人材の計画的な養成に向けたキャリアパス構築の取組は進展しているか。</p> <p>○職種にとらわれない適材適所の人員配置や、多様な雇用形態や公募方式の活用が行われているか。女性の幹部登用等の男女共同参画の取組等が積極的に推進されているか。</p> <p>○研究開発成果の社会実装への貢献を重視した研究職員評価などの適切な人事評価システムが構築・運用されているか。</p> <p>○職務の特性や国家公務員・民間企業の給与等を勘案した支給水準となっているか。クロスアポイントメント制度などの柔軟な報酬・給与体系の導入に向けた取組は適切に行われているか。給与水準は公表されているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成プログラムに基づいて、どのような人材育成の取組が行われているか。その結果として、どういった優れた人材が育成されたか。 ・優れた研究管理者の養成や研究支援、技術移転等を行う人材育成のキャリアパスの整備、運用が図られているか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材の確保に当たって、クロスアポイントメント制度などの雇用の多様化の取組が図られているか。 ・優秀な女性・若手職員の採用の取組や男女共同参画の取組の強化が図られているか。また、外国人研究者の積極的な採用に取り組んでいるか。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の研究業績や能力を適確に評価できる人事評価システムの整備、運用が図られているか。 <p><モニタリング指標></p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修の実施状況 ・女性研究者の新規採用率
3 主務省令で定める業務運営に関する事項	【評価の視点】 <ul style="list-style-type: none"> ・積立金の処分に関する事項が適切に定められ、運用されているか。 	<主な定量的指標> <ul style="list-style-type: none"> ・前期中期目標期間の繰越積立金の処分状況

・評価単位は以下のとおり設定し、評価軸及び指標等はそれぞれ共通とする。

- 1 生産現場の強化・経営力の強化
- 2 強い農業の実現と新産業の創出
- 3 農産物・食品の高付加価値化と安全・信頼の確保
- 4 環境問題の解決・地域資源の活用

評価軸	評価指標等
<p>○中長期計画の達成に向け、ニーズに即した研究課題の立案が行われているか。</p> <p>○社会実装に至る道筋は明確か。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定において、中長期計画への寄与や、最終ユーザーのニーズが考慮、反映されているか。 ・どのような体制で、どのような検討を行ったか。 ・設定した具体的研究課題 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投入する研究資源に対して、どのような研究成果と効果が期待できるか。 ・期待される研究成果と効果は、ニーズをどのように反映しているか。 ・期待される研究成果と効果に応じた社会実装の道筋
<p>○評価結果等を踏まえた研究課題の改善、見直しが行われているか。</p> <p>○成果の移転先と連携し、社会実装に向けた検討と取組が行われているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような体制で検討を行ったか。 ・評価において受けた指摘事項や、社会的情勢や技術開発動向等に即したニーズの変化等、課題の進行管理において把握した問題点に対する改善や見直し措置 ・改善、見直し措置に伴う、資源の再配分状況 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような体制で検討を行ったか。 ・社会実装に向けた研究内容の重点化が行われているか。 ・社会実装に向けて行った具体的検討事項と取組

<p>○中長期計画達成に向け、ニーズに即した成果が創出され、社会実装に至ったか。</p>	<p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業、公設試等との共同研究数 ・シンポジウム・セミナー等開催数 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な研究開発成果とその移転先（見込含む） <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産許諾数 （内訳については法人にて設定可） ・技術指導件数（現場等の要請に応じて実施したもの） ・新聞、雑誌への記事掲載数（法人機関広報誌を除く）
<p>○目的基礎研究の立案にあたり、将来の研究展開への寄与、法人が実施する必要性について検討されているか。</p> <p>○目的基礎研究推進において、適切な進行管理が行われているか。</p>	<p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人が実施すべき目的基礎研究について、どのような体制で検討を行ったか。 ・将来の研究展開への寄与、法人が実施する必要性は明確か。 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行管理において、どのような体制で研究の進捗状況や問題点を把握し、改善策を講じているか。 <p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究資源（エフォート、予算）の投入状況